

精神科

月経前不快気分障害（PMDD）外来のご案内



部長・教授
大坪天平

月経前に何らかの身体的、精神的変化を感じる女性は多く、月経前症候群（PMS）として古くから知られています。

中には月経前の数日から10日間くらいに、極端な抑うつ、不安、イライラ、情緒不安定、興味の減退や集中力の減退を示す方がおり、そういう重症型のPMSを月経前不快気分障害（PMDD）と呼びます。

2013年に発表された米国精神医学会の作成したDSM-5という診断基準において、PMDDは正式な病名として、うつ病と同列に並ぶようになりました。また、PMDDの方は予想以上に多く、月経がある女性の約5%程度に認めるといわれています。

当院のPMDD専門外来では、SSRI（選択的セロトニン再取り込阻害薬）という比較的安全な抗うつ薬を第一選択としています。当院のSSRI奏効率は80%程度認めました。

また、ビタミンB6（ピリドキサミン）の医師主導型治験を行っています。ビタミンB6は極めて安全な物質なので、そちらに興味のある（先生）方も是非ご連絡ください。

PMDD外来の診察予約・ご相談

03-3857-0112 内線22714（精神科外来準備前室）

電話予約受付 13:30～16:30

当科では他に、「大人の発達障害」、「男性更年期障害」、「認知症周辺症状（BPSD）」の専門外来を開設しております。

是非お問い合わせください。

曜日	月	火	水	木	金
初診医	大坪	大坪	榎本	大坪	山元

東京女子医科大学附属足立医療センター精神科スタッフ一同